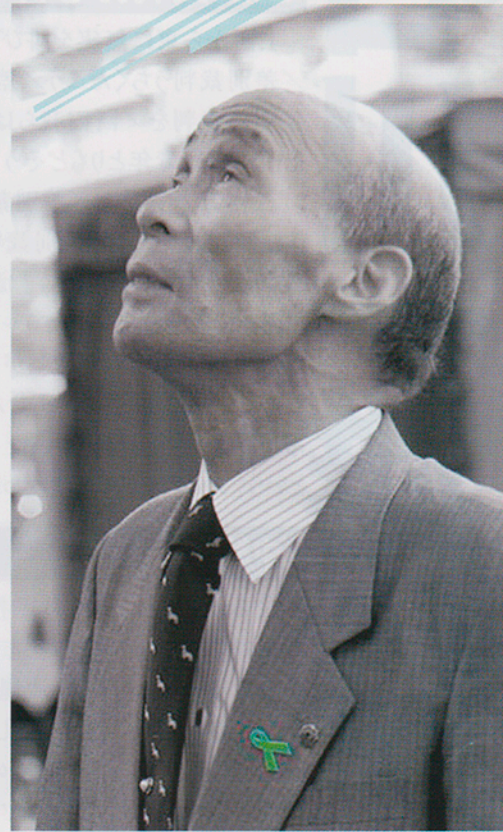


原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!



石川一雄 中山千夏 講演会



フクシマと結ぶ 音の力のちの言葉 (Vol.15)

2019

5月26日 12:30開場 13:00開演
17:30終演(予定)

港区民センター・ホール



大阪市港区弁天2-1-5
☆地下鉄中央線・JR環状線「弁天町駅」徒歩7分

☆途中休憩有り、軽食・飲み物など販売します。
入場料は徴収しません。
事前に**参加協力券(千円)**をお買い求め下さい。

■主催・問い合わせ

コラボ玉造 [TAMAZO]
大阪市生野区鶴橋3-6-24



tel 090-8146-1929 [au / 予約専用]
fax 06-6741-8012

メール tamazo@fanto.org
ウェブ http://fanto.org

■後援 新聞『うずみ火』

第1部 13:00~
ジャグリング ちゃんへん。



ミニ・ライブ
カオリンズ&バギヤン



報告1

『狭山再審請求の現状と課題』
中北龍太郎
(狭山弁護団)



報告2

菅野みずえ



報告3

『竹中平蔵批判、その後』
船橋秀人
(元東洋大学生)



報告4

『連帯労組・関生支部、反弹圧レポート』

諸アピール

第2部 15:30~

講演&トークショー
石川一雄×中山千夏



石川一雄は無実だ!

差別裁判打ち砕こう!

1.西から東に無実を叫び／荊冠旗のもと我らは進む／差別裁判うちくだこう／差別裁判うちくだこう 2.狭山差別の裁判を／断固我らは闘わん／石川青年とりもどそう／石川青年とりもどそう 3.我が行動隊無実を叫び／三百万の兄弟と／差別裁判うちくだこう／差別裁判うちくだこう…この『差別裁判打ち砕こう(作詞:部落解放同盟/作曲:作田晃)』は、フォーク・バンド「水平線」によって全国に広がり、70～80年代には日本の津々浦々で高らかに歌われましたが、今は残念ながら歌うことも聴くことも、ほとんどありません。同様に、数年前、国会議事堂前を中心に響いていた「ミンシュシュギッテナンダ?!」という[ラップ]も、昨今は歌われも聴こえもなくなりました。

沖縄万歳?!

去る2月24日、沖縄県民投票は「新基地建設に72%の反対」という断固たる意志を「形と数値」で示しました。私たちは、この結果を「沖縄の民意」、つまり「民主主義における多数決の勝利」として「日本国本土」で賞賛することを拒否します。「沖縄の闘いは凄い」「沖縄にこそ民主主義がある」などと、ヤマトンチュ(日本人)が万歳を唱えることは断じて許されぬはず。民主主義は「己の闘い」の結実として実体化するのであって、連帯や共闘の名を借りた「他人の成果の横取り」では決してありません。では、私たちの民主主義はどこに、いや、本当に、あるのでしょうか?

あれから56年

56年前、部落差別によって文字と教育の機会を奪われた石川一雄さんが、殺人犯にでっち上げられました。「狭山事件」は、実は国家権力による意図的な冤罪事件だったのです。そして、獄中で自らの生い立ちと部落差別の現実に目覚め、文字と人間の尊厳を取り戻す決意を打ち固めた石川さんの闘いが、戦後民主主義の陥穽であり瑕疵でもあった「部落差別」の現実を広く知らしめ、特に「差別の現実に深く学ぶ」数え切れないほどの教育実践が生み出され、無数の共感と連帯が波濤となつてうねりながら、♪差別裁判打ち砕こう!の歌声が全国津々浦々に響きました。その結果、枚挙にいとまない支援・共

安倍打倒の佳き日を!

闘行動が創出されたのです。この歴史と事実こそ「私たちの民主主義のための闘い」だったはず。です。

【オリンピック・代替わり】災害

「東京オリンピック」のお祭り騒ぎと「天皇の代替わり」を利用して福島原発事故を隠蔽し、沖縄辺野古へ新基地建設を飽くまで推進する「安倍・自公独裁政権」は、死刑と冤罪と政治弾圧を量産する史上最低・最悪・最凶のレイシスト集団以外何ものでもありません。私たちは、狭山差別裁判の歴史的・社会的構造を再度対象化する中から、「ミンシュシュギッテナンダ?!」をもっともっと掘り下げ、圧政に屈することなく、明日への展望を語り合い、そして、一日でも早く「安倍打倒の佳き日」を迎えようではありませんか!

石川「青年」とりもどそう

かつての石川青年は、80歳になった今日に至るも「差別裁判」を糾弾し自身の無実を勝ち取るために飽くことなき闘いを続けておられます。中山千夏さんは戦後大衆芸能史の生き字引的存在であり、平和・民主主義・人権の闘いの現場に馳せ参じてくれる数少ない芸能人の一人です。この「二人の親友」をお招きして、知性と闘志を鍛え、様々で多種多様な「闘いと生の現場」の交流を深めましょう。

「…人間を勤(いたわ)るかの如き運動は、かへつて多くの兄弟を墮落させた事を想へば、此際(このさい)吾等の中より人間を尊敬する事によつて自ら解放せんとする者の集団運動を起せるは、寧(むし)ろ必然である。」
(水平社宣言より)

あなたの参加を呼び掛けます!

「5・26 石川一雄、中山千夏 講演会」
実行委員会 一同

「5・26」実行委員会では、賛同団体、賛同人(個人)を広く募っています。

趣旨に賛同される方は下記①と同じ方法でご連絡下さい。

① 下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。
[振り込み用紙] 同封でお送りします。

電話 090-8146-1929 (Cメール可)

Fax 06-6741-8012

メール tamazo@fanto.org

「コラボ玉造」まで 葉書か封書

② 郵便振替口座に「5・26 参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚につき、¥1,000です。入金が確認され次第、ご指定の住所・氏名まで郵送いたします。

【口座番号】00940-5-312873

【加入者名】企画・出版 黄土(ファント)

※事務処理の関係上、お振り込みの締切は5月17日(金)とさせていただきます。それ以降は、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。

お申し込み方法
参加協力券